

事業区分
金銭給付

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	福祉のまちづくり整備助成					所管	福祉部	
							福祉課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	87	計画事業名	福祉のまちづくり推進			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり					[事業開始]	平成16年度
		[施策] ②だれもが利用しやすいまちづくり					[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	その他	[法令等名]	台東区福祉のまちづくり整備助成金交付要綱				
	事業対象	①診療所②施術所③薬局④その他これらに類する施設						
	事業目的	公共的施設のバリアフリー整備を行おうとする者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、バリアフリーを促進し、区民の社会的自立と社会参加の機会を拡大する。						
	事業内容	医療等施設のバリアフリー整備(①道路から出入口までの通路②建物の出入口③その他)に対する助成 ○補助率:補助対象経費の1/2 ○補助限度額:100万円						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	整備件数	件	4	2	2	2	
		成果指標	累計整備施設数	件	34	20	22	24
	決算額 (単位:千円)				1,175	1,174	1,077	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			852	850	802	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,175	1,174	1,077	
		総経費			2,027	2,024	1,879	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			587	587	538	
一般財源(区負担額)			1,440	1,437	1,341			
前回評価から改善した事項	対象となる施設が必要な助成を受けられるよう、周知パンフレットの文言、表現を修正するとともに、配布先を拡大した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	バリアフリー化を支援し、高齢者や障害者の利用しやすい医療施設等を増やす必要性は高い。					
	効率性	3	コストや効率面について大きな変化はなく、コストに応じた実績を挙げている。					
	手段の適切性	3	整備経費の一部を支援することによりバリアフリー化を促進するという手段は適切である。					
	目的達成度	3	毎年整備実績があり、小規模医療施設等のバリアフリー化は着実に進んでいる。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持	
小規模医療施設等のバリアフリー化をより一層促進し、利用者の利便性を向上させるため、引き続き事業を実施していく。						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		